

東北の国土は私たちが守っていく



東測協だより

平成26年10月

Vol. **2**
2014

Contents

- ・会長挨拶
- ・H26年度（4月～9月）各委員会活動報告
- ・採用計画予定アンケート
- ・大学との連携事業
- ・現場研修会の報告
- ・今後の主な活動予定

私達の理念

「東北に根差し、地域に責任を持ち、期待される協会」



一般社団法人 東北測量設計協会

Tohoku Survey & Planning General Inc. Association

福島県 吾妻山 天狗の庭

会長あいさつ



会長 鵜沼 順二郎

本協会は1985年に創立し、2012年に一般社団法人に移行し、来年は創立30周年を迎えます。

東北管内に本社を置く企業で構成され、「東北に根差し、地域に責任を持ち、期待される協会」を理念とし、「東北の国土は私たちが守っていく」のスローガンのもと、その社会的責任に対応していく所存であります。

協会の最近の状況として、あの未曾有の大震災から3年半を経過し、太平洋側に位置する会員はその復興業務を主にしていながらも、東北全体から見ますとアベノミクスで拡大された通常業務をはじめ、インフラ長寿命化計画（行動計画）に関わる道路、河川などの点検・診断業務が顕著となっております。

また、若手技術者の確保・育成に当たっては、さらに深刻化されているように感じております。この状況から察しますと5年後10年後には、災害協定を締結していながらもその出勤さえ懸念されるところです。

これらの解決に当たり、当協会は就労環境の改善や技術力向上への取り組みはもちろん、高等教育機関との交流を密にしながら、学生の皆さんにも私どもの業務を通し地域を守る大切さや地域に誇りの持てる尊さを啓発する活動にも取り組んでいるところです。

各委員会活動報告

総務委員会

年月日	行 事 名
26. 4. 2	第1回三役会議開催（役員選考委員会の運営）
26. 4. 4	役員選考委員会開催
26. 5.16	第1回理事会開催（平成26年度役員改選（案））
26. 5.16	平成26年度通常総会開催
26. 6. 2	第2回理事会開催（平成26年度委員会委員（案））
26. 6.19	ガイド東北特別委員会発足及び第1回委員会開催
26. 7. 2	平成26年度三役及び諮問懇談会合同会議開催
26. 7. 4	第1回総務委員会（平成26年度事業実施計画）
26. 9.18	秋田県内事務所長との意見交換会実施
26. 9.19	第2回ガイド東北特別委員会開催



通常総会鵜沼会長挨拶



通常総会の様子

企画委員会

年月日	行 事 名
26. 4. 9~ 26. 7. 16	東北大学理学部講義（地形測量及び実習）
26. 5. 9	東北学院大学工学部打合せ（大学等との連携事業）
26. 6. 24	第1回企画委員会（大学等との連携事業）
26. 9. 29	第2回企画委員会（東測協だよりVol.2発行準備）



東北大学講義

技術委員会

年月日	行 事 名
26. 5. 8	測量設計技術講習会開催【16社（36名）】
26. 6. 9	第1回技術委員会（「総合評価・技術提案書」講習会準備）
26. 7. 17	「総合評価・技術提案書」講習会開催【33社（64名）】
26. 8. 21	第2回技術委員会（現場研修会の運営準備）
26. 9. 11 ~12	現場研修会（津軽ダム建設事業）開催【21社（29名）】



総合評価・技術提案書講習会

補償業務委員会

年月日	行 事 名
26. 7. 3	第1回補償業務委員会（平成26年度事業実施計画）
26. 9. 26	補償業務講習会開催【20社（26名）】
26. 9. 26	東北地方整備局用地調査官との懇談会実施



補償業務講習会

会員企業採用計画予定アンケート結果

本年4月、すべての会員の皆様にご協力を頂き実施致しました「平成27・28・29年度採用計画予定アンケート」の結果概要を下記の表に記載いたしました。

今後、この結果を踏まえ、大学をはじめとした関係機関との連携を深め、東北地域の優秀な人材の確保並びに技術の継承に繋げてまいります。

年 度	平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	男 子	女 子	男 子	女 子	男 子	女 子
大 学 ・ 大 学 院	77名	8名	63名	7名	62名	6名
高 等 専 門 学 校	16名	0名	10名	0名	11名	0名
短 期 大 学	1名	4名	1名	3名	1名	1名
専 門 学 校	30名	3名	22名	3名	21名	4名
高 等 学 校	15名	2名	9名	2名	11名	1名
合 計	139名	17名	105名	15名	106名	12名

大学との連携事業

東北大学理学部地圏環境科学科における「地形測量学及び実習」について

株式会社 ウヌマ地域総研 藤田 勝

一般社団法人東北測量設計協会からの派遣による非常勤講師として、平成25年度より東北大学理学部地圏環境科学科において「地形測量学及び実習」を担当しております。本稿は、講義概要と2か年非常勤講師を務めた感想について報告するものです。

東北大学理学部地圏環境科学科は、地学や地理学などを専門とする学科であり、卒業生は石油開発、地質・環境コンサルタント、官公庁、小中高教員、学芸員などとして活躍しているそうです。

「地形測量学及び実習」は、3年生15名程度を対象に4月から7月までの毎週水曜日13：00～15：45までの2時間45分実施しております。講義の主な内容は、「距離と高低差、角度を測る」「基準点測量（講義、実習）」「水準測量（講義、実習）」「細部測量・応用測量（講義、実習）」「三次元計測技術」としております。

教室のなかでは、どうしても退屈な講義になってしまいます。このため、できるだけ毎回講義内容に応じた測量機器（巻尺・レベル・TS・GNSS・レーザースキャナなど）を教室内に持ち込み、直に触れてもらいながら理解を深めることに努めました。

実習は、キャンパス内の緑地を活用させていただきました。実習補助として弊社の赤川、織山（昨年は渡邊）、三次元計測技術については株式会社サトー技建の加藤氏などの協力も得ながら、なんとかカリキュラムを無事に終わらせることができました。

最後に待っているのが、評価点を付けること。出席状況や授業中の態度、さらには実習の成果として、平面図（プロット図を鉛筆で結線）の出来栄などを判断し、評価を下します。単位取得の可否、ひいては卒業後の測量士補取得にも関わる評価ですので、責任の重さを感じながら行いました。

講義で活用した資料は協会にデータで提供しております。今後各地で行われるであろう測量講義の一助になれば幸いです。

【26年度カリキュラム並びに時間割】

NO	月 日	講 義	
		13:00 ~ 14:15 75分	休憩 15分
1	4月 9日	測量とは	東日本大震災での測量の役割
2	4月16日	距離と高低差と角度を測る 1	距離と高低差と角度を測る 2
3	4月23日	距離と高低差と角度を測る 3	基準点測量 1
4	4月30日	現在の測量事情について	基準点測量 2
5	5月 7日	基準点測量 3 (実習)	基準点測量 4 (実習)
6	5月14日	基準点測量 5 (実習)	水準測量 1 (実習)
7	5月21日	休 講 (基準点観測の計算を次回に提出)	
8	5月28日	水準測量 2 (実習)	水準測量 3 (実習)
9	6月 4日	細部測量、地形測量、応用測量	細部測量、応用測量 (実習 1) <細部測量>
10	6月11日	細部測量、応用測量 (実習 2) <細部測量>	細部測量、応用測量 (実習 3) <縦断・横断測量>
11	6月18日	細部測量、応用測量 (実習 4) <作図>	細部測量、応用測量 (実習 5: 作図)
12	6月25日	休 講 (横断図、平面図の計算・描画作業)	
13	7月 2日	三次元計測技術 1 (3D スキャナなど)	三次元計測技術 2 (3D スキャナなど)
14	7月 9日	三次元計測技術 3 (移動計測車輦など)	三次元計測技術 4 (移動計測車輦など)
15	7月16日	平面図結線・補足	H26 測量士補試験の解説



講 義 風 景



実 習 風 景

平成26年度現場研修会

- **実施日**：平成26年9月11日（木）～12日（金）
- **視察現場**：津軽ダム（国土交通省東北地方整備局津軽ダム工事事務所）
青森県中津軽郡西目屋村、弘前市、平川市、田舎館村、青森市 他
- **参加人数**：29名
- **現場研修の目的**：洪水調節と河川の安定調整による灌漑排水や工業用水源の確保を目的とする多目的ダムとして現在建設中の津軽ダムを見学し、技術的な見聞を広げ併せて今後の地域課題への解決の糸口を発見することを目的とするものである。

津軽ダムは、昭和35年に完成した「目屋ダム」の60m下流に建設されており、目屋ダムの度重なる洪水や水不足を解消するため現在建設中である。主な働きは、①洪水の防止②農業用水の補給③電力の発電④水道用水の供給⑤工業用水の供給⑥流水の正常な機能維持を目的としている。

昭和58年度から予備調査に着手し、平成3年度には津軽ダム工事事務所などの建設へ着手、平成19年度からは本体関連工事へと着手している。平成20年度には、本体着工式が行われ、平成26年8月28日にはダム本体の打設が完了したところである。津軽ダムの規模は、今後建設されるダムを含めて東北では高さで8番目、総貯水容量では5番目となっている。



【津軽ダム担当官からの説明】



【撤去された目屋ダムコンクリートの一部】



【津軽ダム全景】



【コンクリート打設が完了したダム堤体】

感想

近年は、毎年のように集中豪雨や干ばつが局地的に発生しており、日本の古い歴史であるダムによる治水・利水機能や、昨今の自然エネルギーに対する注目度の高まりからダムにおける電力発電も大きく注目されている。今回の現場研修会では、このような注目される数少ないダム建設の現場を身近に触れることができたことで土木技術者としての使命感をさらに強くし、より一層の技術力の向上を誓った研修会となった。また、下流部からは大規模洪水時に発生する濁水の早期解消を目的としたコンジットゲート（引張りラジアルゲート）も見ることができ、この形式では日本最大級であることから貴重な現場研修会となった。

役員名簿

会 長	鵜 沼 順二郎 (株)ウヌマ地域総研
副 会 長	安 孫子 正 芳 (株)寒河江測量設計事務所
副 会 長	遠 藤 敏 雄 (株)復建技術コンサルタント
専 務 理 事	菅 井 一 男 (株)サト一技建
理事兼総務委員長	佐 藤 和 昭 (株)キタコン
理事兼企画委員長	伊 藤 清 郷 陸奥テックコンサルタント(株)
理事兼技術委員長	菊 池 透 (株)菊池技研コンサルタント
理 事 兼 補 償 業 務 委 員 長	安 孫子 健 一 (株)建設相互測地社
理 事	金 隆 夫 (株)コンテック東日本
理 事	植 田 義 豊 (株)南部測量設計
理 事	伊 藤 隆 喜 創 和 技 術 (株)
理 事	田 村 道 雄 (株)田村測量設計事務所
監 事	庄 子 満 (株)光生エンジニアリング
監 事	伊 藤 篤 篤 新 和 設 計 (株)

編集委員

菅井 一男	(株)サト一技建
伊藤 清郷	陸奥テックコンサルタント(株)
金 隆夫	(株)コンテック東日本
千葉 俊昭	東北エンジニアリング(株)
鵜沼 順之	(株)ウヌマ地域総研
山内 一晃	エコウコンサルタンツ(株)
眞宮 昌	(株)眞宮技術
安孫子文剛	(株)寒河江測量設計事務所
土屋 貴弘	(株)栄和技術コンサルタント

編集後記

会員の皆様にご協力頂きました採用計画予定アンケートの結果では、来年度4月に会員59社で156名の採用予定があります。各社採用することができなかった空白の数年間を抱え、いよいよ技術の継承という大きな問題に直面しております。優秀な人材の確保は、我々が東北の国土を守っていくために必要不可欠でありますので今後、大学・高専へのPRに努めてまいりたいと思います。

私共企画委員会では、学生の皆さんに測量設計業への理解を深めて頂き、その存在意義とやりがいを伝えるため、大学及び高等専門学校との連携事業を推進しております。今後ともご協力の程、宜しく願い申し上げます。

「東北の国土は私達が守っていく」のスローガンのもと、会員各社一致団結し東北の未来のために頑張っ参りましょう！
(企画委員長 伊藤 清郷)

● 協会の今後の主な活動予定

年 月 日	行 事 名	場 所
26.10.9	山形県内事務所長との意見交換会	山形河川国道事務所
26.10.17	講義 最新測量技術について(大学等との連携事業)	八戸工業大学
26.10.29	岩手県内事務所長との意見交換会	北上川ダム統合管理事務所 湯田ダム管理支所
26.10.29	講義 最新測量技術について(大学等との連携事業)	東北学院大学
26.11.13	技術士試験対策基礎講習会	ハーネル仙台
26.11.26	独占禁止法講習会	宮城県建設産業会館
26.12.1	青森県内事務所長との意見交換会	青森港湾事務所
26.12.10	福島県内事務所長との意見交換会	道の駅「あいづ 湯川・会津坂下」
26.12.12	講義 最新測量技術について(大学等との連携事業)	国立福島工業高等専門学校
27.2.5~6	補償業務管理士講習会	ハーネル仙台
27.2.13	全員協議会、安全大会、会社経営研修会	パレスへいあん



編集・発行・お問合せは

一般社団法人 東北測量設計協会

〒980-0014

宮城県仙台市青葉区本町3丁目6-17 勾当台さのやビル6F

TEL.022-263-0922 FAX.022-263-1744

E-mail info@tospa.org

公式HP <http://www.tospa.org/>

Access Map

